

大館市本庁舎建設基本設計業務  
基本設計説明書【概要版】



2017.06.30

久米・秋田県共同組合設計共同体

## ■ 設計趣旨

「大館市本庁舎建設基本構想・基本計画」の理念と方針を踏まえ、「歴史まちづくりの拠点」となる庁舎をつくります。

新庁舎は、行政機能の充実と「市民の安全・安心を確保した庁舎」、「周辺の歴史的建築物、文化施設等をめぐる交流拠点」の整備を図ります。

### 「大館を象徴する歴史や風物詩を、 未来へのまちづくりと共に見守り続ける庁舎」

#### □ 4つのコンセプト

1. 歴史まちづくりと市民を結ぶ庁舎
2. 100年間市民の安心安全を見守る庁舎
3. 賑わいと機能が共存する市民が創る庁舎
4. 大館の自然の恵みを活かすエコ庁舎

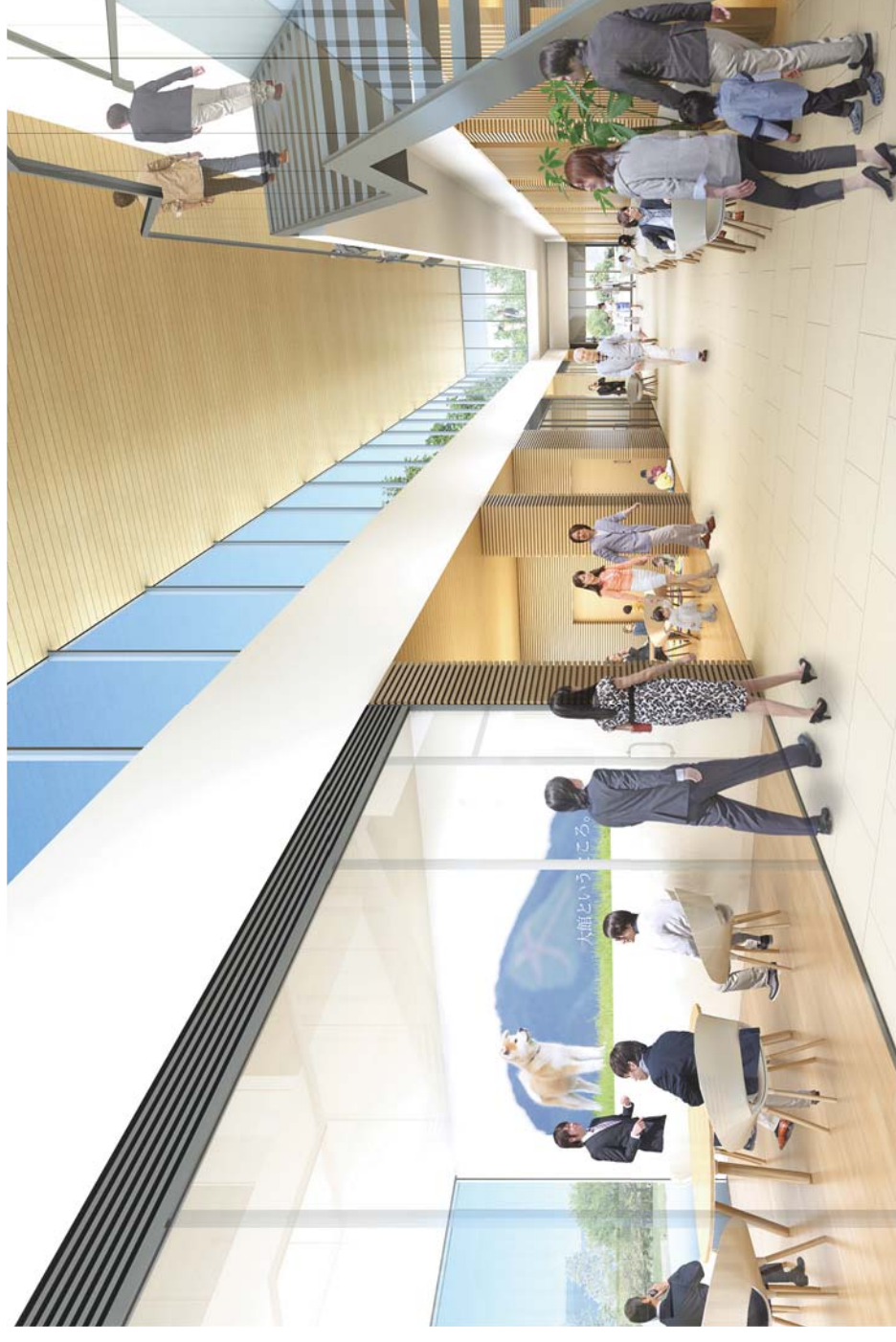
#### 新庁舎建設の基本理念

「大館市本庁舎建設基本構想・基本計画」より

「市民に親しまれ、安心して暮らせる街の拠点となる庁舎」

#### 新庁舎建設の基本方針・具体的目標

- ① 防災拠点として市民の安全・安心を確保した庁舎
  - ・ 災害対策本部機能の強化
  - ・ 市民の安全・安心の確保
- ② 市民サービスの向上が図られる効率的な庁舎
  - ・ 来庁者にとって分かりやすく、職員が対応しやすい庁舎
  - ・ 来庁者が安心できる環境の庁舎
  - ・ 窓口手続きがスムーズな庁舎
- ③ 市民に親しまれる開かれた庁舎
  - ・ 気軽に利用できる市民交流空間を備えた庁舎
  - ・ ユニバーサルデザインに配慮した庁舎
- ④ 環境に配慮した庁舎
  - ・ 再生可能エネルギーの活用と省エネ化
  - ・ 緑化の推進、施設の長寿命化
- ⑤ まちづくりと連動した庁舎
  - ・ コンパクトシティの核となる庁舎
  - ・ 桂城公園との一体的な整備
- ⑥ 市民が誇りを持つ庁舎
  - ・ 地場産材の使用及び展示スペースの設置
  - ・ 市の象徴としての景観形成をする庁舎
- ⑦ 分庁舎を活用し、将来の機能集約や機構改革等にも対応できる庁舎
  - ・ 将来を早据えた行政サービスに対応できる庁舎
  - ・ 市有建物の有効活用
- ⑧ その他の機能
  - I 高度情報化への対応と防犯機能を備えた庁舎
  - II 行政機能
  - III 議会機能



内観パース



外観パース

## ■ 計画概要

### 計画地概要

所在地 秋田県大館市字中城 20 番地  
敷地面積 約 11,710 m<sup>2</sup>  
用途地域 ①現庁舎敷地：商業地域 (400% / 80%)  
②公園側敷地：第一種住居地域 (200% / 60%)  
防火地域 ①現庁舎敷地：準防火地域  
②公園側敷地：法 22 条地域  
日影規制 ①現庁舎敷地：指定なし  
②公園側敷地：平均地盤面からの高さ 4m  
日影規制 5h-3h  
道路斜線 ①現庁舎敷地：1.5 x L、20m  
②公園側敷地：1.25 x L、20m  
敷地斜線 ①現庁舎敷地：31+ (2.5 x L)  
②公園側敷地：20+ (1.25 x L)  
北側斜線 指定なし  
浸水予測 浸水想定区域外  
その他地域地区 指定なし  
前面道路 西側：国道 7 号 (幅員 15.1m)  
南側：市道中城金城線 (幅員：15.2-15.8m)

### 建築概要

建物用途 08470 事務所 (庁舎)  
工事種別 新築工事  
耐火 耐火建築物  
構造 鉄骨造 (基礎免震構造)  
建築面積 【庁舎】 2,055 m<sup>2</sup>  
【車寄せ庇】 315 m<sup>2</sup>  
【駐輪場】 75 m<sup>2</sup>  
【庁舎】 7,320 m<sup>2</sup>  
【車寄せ庇】 315 m<sup>2</sup>  
【駐輪場】 75 m<sup>2</sup>  
延床面積 地上 6 階  
高さ 最高の高さ：25.300m

### 構造概要

構造形式 免震構造 (基礎免震)  
規模 地上 6 階、塔屋 1 階  
構造種別 地上 鉄骨造  
架橋形式 地上 純ラーメン構造  
基礎形式 杭基礎 (場所打ち鋼管コンクリート杭)

| I 期工事面積表 |                      |
|----------|----------------------|
| 【庁舎】     |                      |
| 6 F      | 165 m <sup>2</sup>   |
| 5 F      | 1,270 m <sup>2</sup> |
| 4 F      | 1,300 m <sup>2</sup> |
| 3 F      | 1,300 m <sup>2</sup> |
| 2 F      | 1,395 m <sup>2</sup> |
| 1 F      | 1,890 m <sup>2</sup> |
| (合計)     | 7,320 m <sup>2</sup> |

| 附帯施設面積表 |                    |
|---------|--------------------|
| 【車寄せ庇】  | 315 m <sup>2</sup> |
| 【駐輪場】   | 75 m <sup>2</sup>  |

※面積は小数点以下を切り上げて丸めております。

## 大館市本庁舎建設基本設計業務

基本設計説明書 (概要版)

※実施設計段階で若干変更になる場合もあります。

### 電気設備概要

受変電設備 受電方式：6.6kV 1 回線受電 屋外キュービクル  
一般電灯：300kVA  
一般動力：500kVA  
非常保安電灯：100kVA  
非常保安動力：200kVA  
ファイゼルエンジン発電機 400kVA (屋内設置)  
燃料：軽油  
稼動時間：72 時間  
(オイルタンクによる備蓄)  
太陽光発電設備 太陽光パネル 10kW  
蓄電システム 10kW  
幹線動力設備 動力 三相 3 線 200V  
電灯 単相 3 線 200V / 100V  
照明設備 LED 照明器具  
雷保護設備 人感センサーおよび集中管理 (共用部)  
棟上導体方式 (導体は構造体を利用)  
新 JIS レベル III  
R 型受信機  
情報表示設備、映像音響設備、拡声設備、  
誘導支援設備、テレビ共同受信設備、  
入退室管理設備  
自動火災報知設備  
その他設備

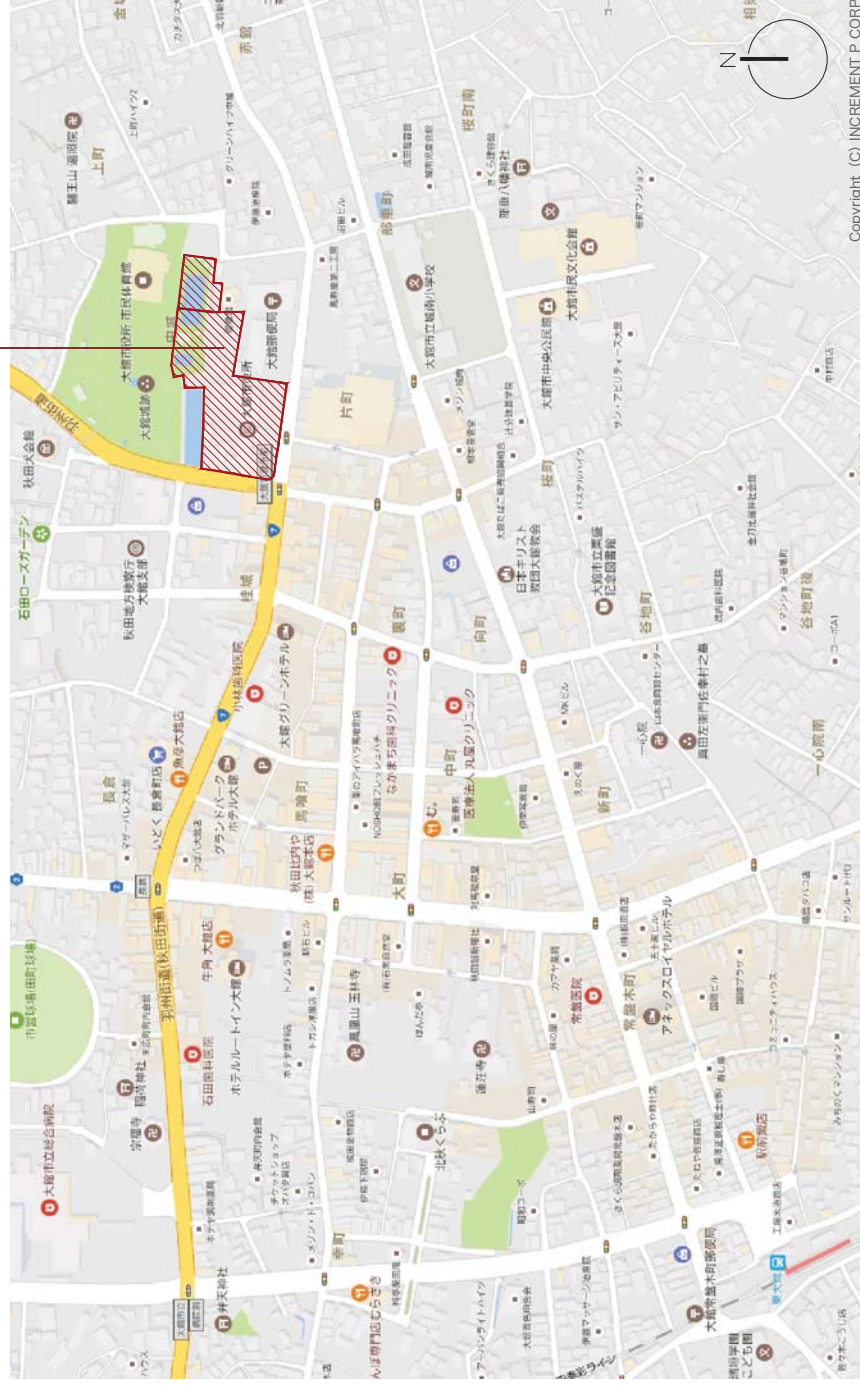
### 空調換気設備概要

熱源設備 空調換気ヒートポンプチャラー  
ビル用マルチエアコン (EHF)  
空調設備 床吹用空調機による床輻射冷暖房 (1.2F 執務スペース)  
全熱交換ユニット + ビル用室内機 等  
(その他の空調対象室)  
換気設備 全熱交換器による第一種換気方式 (空調対象室)  
排煙設備 排気ファンによる第三種換気方式 等 (トイレ・倉庫等)  
中央監視 自然排煙方式 および 排煙免除  
自動制御設備 中央監視装置 + 空調集中リモコン  
自動制御設備

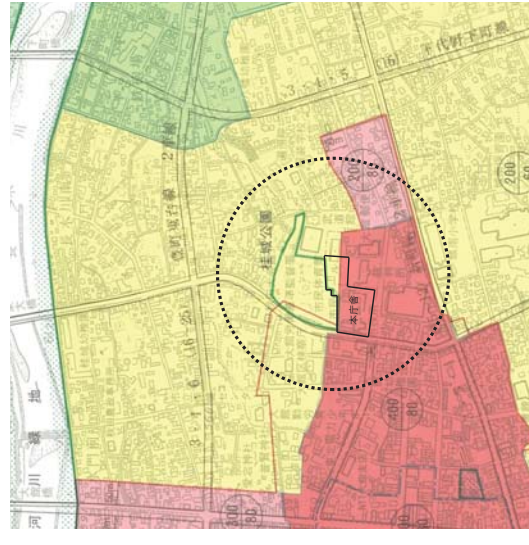
### 給排水衛生設備概要

上水給水設備 FRP 製受水槽 + 加圧給水ポンプユニット  
雑用水給水設備 FRP 製受水槽 + 加圧給水ポンプユニット※水源は地下水  
給湯設備 小型電気温水器  
排水設備 屋内分流 (汚水 + 雑排水、ドレン系、雨水系) 方式  
衛生器具設備 節水型衛生器具  
消火設備 屋内消火栓設備、消火器

案内図 (S=1:7500)



計画地



| 用途地域         | 建築線 | 容積率 | 高さの制限 |
|--------------|-----|-----|-------|
| 第一種住居地域      | 50  | 80  | 20m   |
| 第二種住居地域      | 50  | 100 | 20m   |
| 第三種住居地域      | 60  | 200 | 20m   |
| 第一種住居地域      | 60  | 200 | 20m   |
| 第二種住居地域      | 80  | 300 | 30m   |
| 近隣商業地域       | 80  | 400 | 30m   |
| 商業地域         | 80  | 500 | 30m   |
| 工業地域         | 60  | 200 | 20m   |
| 工業地域         | 60  | 200 | 20m   |
| 用途地域の指定のない空地 | 70  | 200 | 20m   |
| 準防火地域        |     |     |       |
| 緑地           |     |     |       |
| 都市公園         |     |     |       |
| 緑地           |     |     |       |
| 都市計画道路       |     |     |       |

## ■ 配置計画

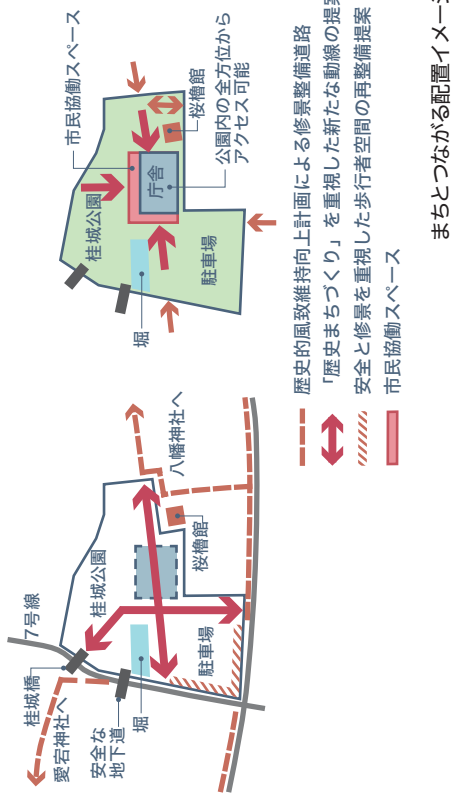
歴史ある桂城公園との調和、景観や機能の一体化を図り、街のざわい創出に繋がる配置計画を行います。

### まちの中心からまちを活性化する庁舎

- まちの中心「大館城址」という場を活かし、「歴史まちづくり」を推進する、人と情報が集まる庁舎をつくります。
- 「歴史的風致維持向上計画」や周辺の史跡等をめぐる回遊性を重視した建物配置計画とします。

### まちとつながり人が集まる配置計画

- 整備する「修景整備道路」に対し、公園内でつなぎ、新たな回遊性をつくる庁舎の配置や動線とします。
- 庁舎がまちと多様なアプローチで結ばれることで、市民が集まり、まちを元気にする賑わいが生まれます。
- 東側の公園拡張スペースは、桜櫓館との一体利用を想定し、賑わいと安全性に配慮して計画します。



### 分かりやすく安全な駐車場、動線計画

- 現庁舎の位置に到来庁舎駐車場を配置し、建物周辺は歩道とすることで明確な歩車分離を行い、安全性を高めます。混雑を避け安全性を高めるために南側道路に対し、敷地中央部に一般車両の出入口を設けます。
- メインエントランス近くに車寄せと障害者用のおもいやり駐車場を確保します。車寄せ、おもいやり駐車場から雨に濡れずに庁舎にアクセスできる庇を設けます。
- 観光バスやタクシー待合、障害者用の車などが寄りつけるスペースも確保した駐車場計画とします。

公園と一体化した親水公園

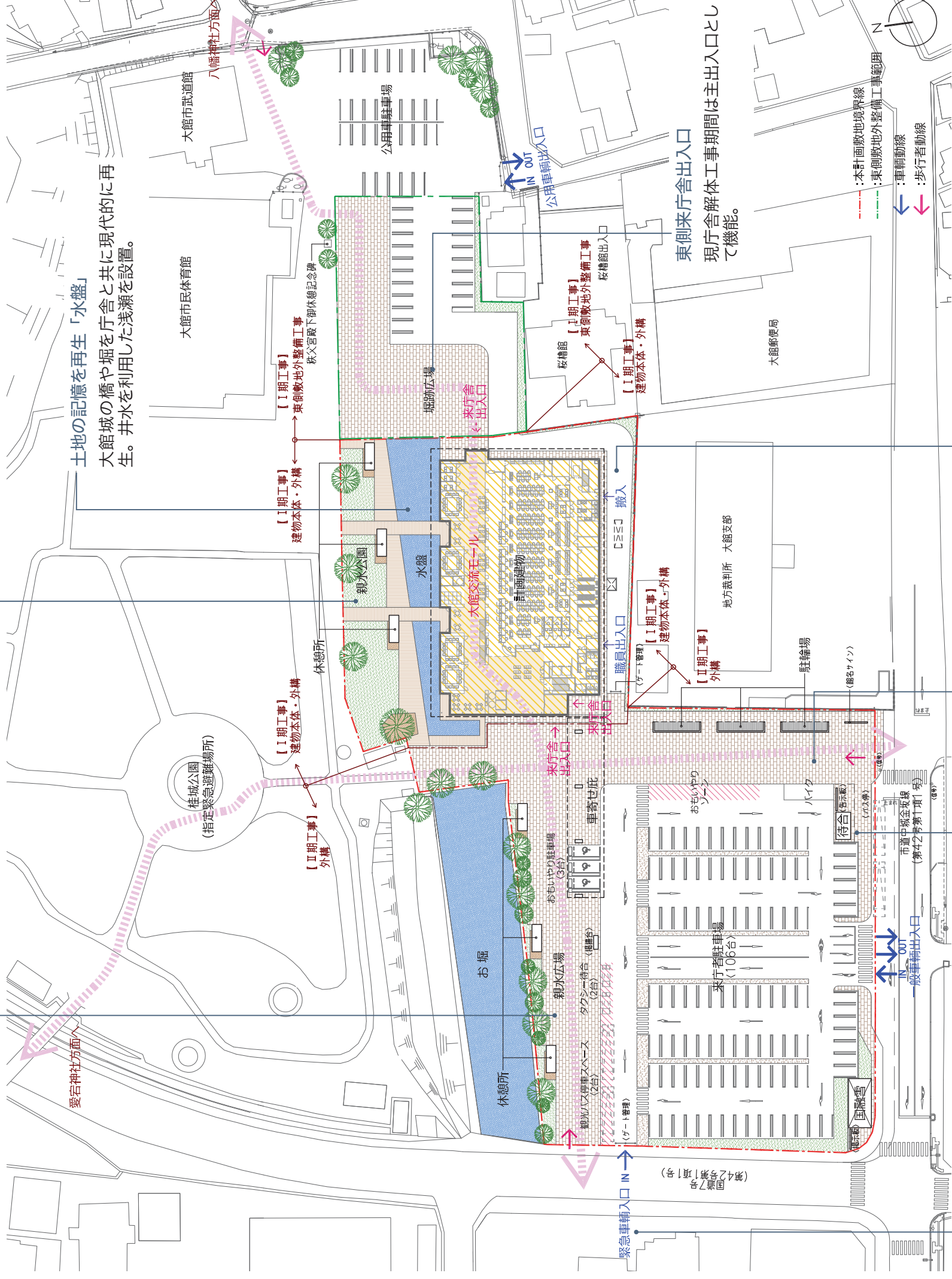
庁舎敷地北側は憩いの広場となる親水公園とし、庁舎との出入りも可能。

お堀と一体化した親水広場

新たに堀に開く広場として整備。駐車場との一体利用で大きなイベントも可能。

土地の記憶を再生「水盤」

大館城の橋や堀を庁舎と共に現代的に再生。井水を利用した浅瀬を設置。



緊急車両出入口 市道の拡幅とバス停の整備 安全な遊歩道 車庫サービス動線

国道側に緊急車両出入口を設置。歩道を十分に確保しバス停の待合を充分に整備を行う。  
日常的に東側よりサービスアークセス。必要に応じてアプローチ側（車寄せ）と連絡。

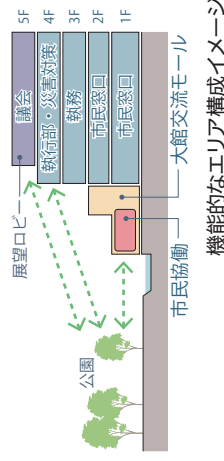
配置図 S=1/1000

## ■ゾーニング計画・動線計画

市民・職員・災害対策のつながり重視した機能的な階層構成

市民窓口は1・2階に集約し「大館交流モール」でつながるわかりやすい構成とします。

市長など執行部と災害対策部を4階フロアとし、災害時の連携が迅速にできる構成とします。



分かりやすい動線計画・整形でフレキシブルな基準階構成

EVや階段などは両端に配置し、分かりやすい動線計画とします。庁舎機能エリアは機能性と快適性を両立したフレキシブルな計画とします。

### 1F・2F 【市民利用の多い市民部・福祉部等の部署を配置】

市民が自由に集まり賑わいが広がる平面構成

- 「協働スペース兼会議室」はまちや公園に開くことで、市民活動が見え賑わいが広がる計画とします。
- 「大館交流モール」は執務と市民協働スペースをつなぎ外部へ結ばれることで、新庁舎を起点にまち全体が賑わう計画とします。

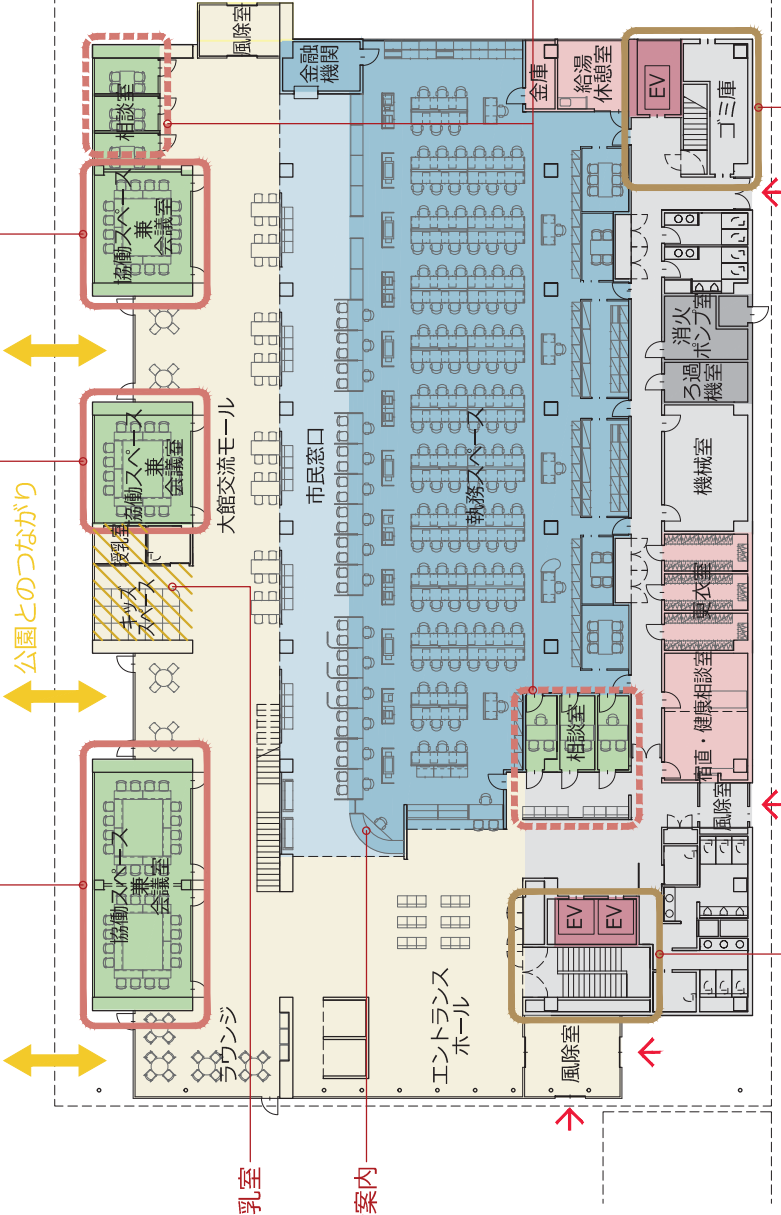
市民目線に立った利用しやすい庁舎

- 総合案内はエントランスに近い位置に配置します。各窓口や協働スペース兼会議室が見渡せることで、市民活動への参加を促す分かりやすい案内が出来る計画とします。
- 初めて庁舎を訪れた人にもわかりやすく、やさしいサイン計画とします。
- プライバシーに配慮した相談室を複数配置し、それぞれのニーズに沿った計画とします。

人にやさしい庁舎

- 子どもから高齢者まで誰もが安心して利用できるよう、キッズスペースや授乳室を整備し、多目的トイレは各階に配置します。
- 来庁舎用のエレベーターを2機設置し、各階へスムーズに移動することが出来ます。

市民協働スペース



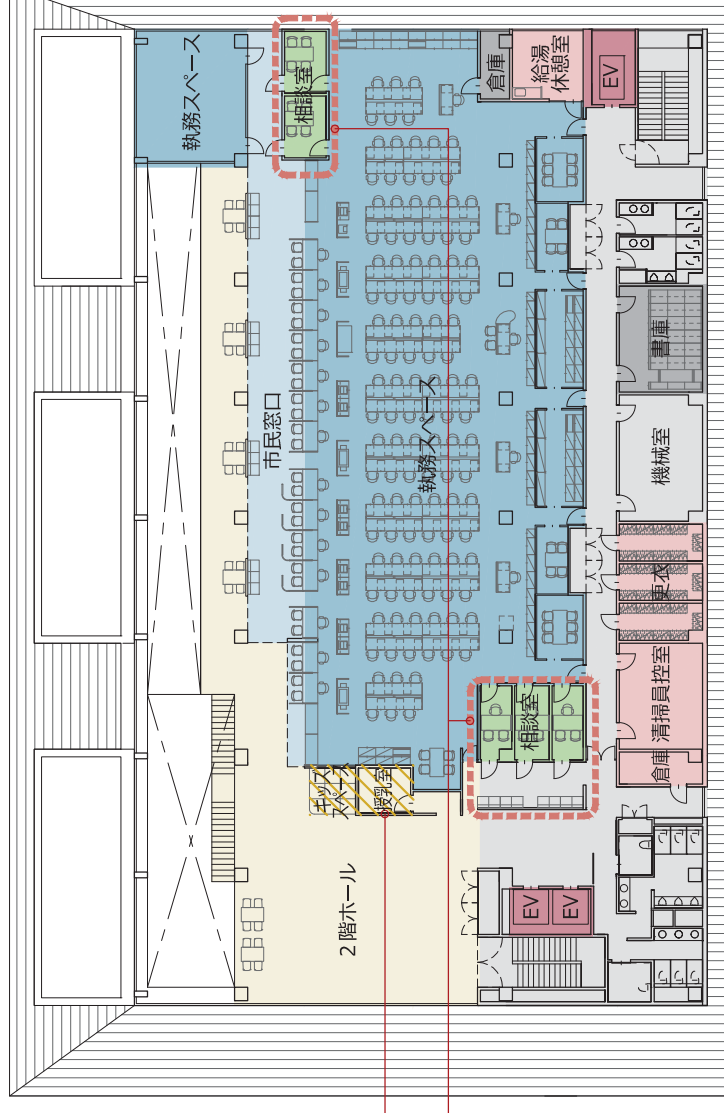
1F平面図

東西の両端に配置した分かりやすい動線計画

個別相談可能な相談室

キッズスペース・授乳室

総合案内



2F平面図

キッズスペース・授乳室

個別相談可能な相談室

凡例

|         |            |
|---------|------------|
| 議会関連    | 市民開放       |
| 執務室     | 倉庫・書庫      |
| 市民窓口    | 廊下・階段・トイレ等 |
| 会議室・相談室 | EV (縦動線)   |
| 協働スペース  |            |
| 附帯諸室    |            |



S=1/400 (A3)

## ゾーニング計画・動線計画

### 3F

#### 【機能的でオープンな執務フロア】

コンパクトで面積効率のよい中廊下形式

- ・ 執務フロアは最も面積効率の良い中廊下形式を採用します。通路幅は十分な広さを確保し、オープンカウンターとすることで明るい窓口空間を生み出します。

整形でフレキシブルな執務スペース

- ・ 間仕切りの無いオープンな空間でレイアウト変更が容易なフレキシビリティを確保します。来庁者と職員の見通し良好く機能的でわかりやすい計画とします。

利用目的に応じた会議室

- ・ 様々な利用目的に対応可能な会議室を確保しています。大会議室は可動間仕切りを採用することで利用目的に合わせて部屋の大きさを変更することができます。

### 4F

#### 【災害拠点となる執行部フロア】

災害時の迅速な対応を実現

- ・ 災害発生時に被災状況を的確に把握し、関係機関と連携して速やかに対応・対策が取れるように、防災対策室を中心に市長・副市長室、執務室を近接して配置します。

- ・ 同フロアには災害対応に必要な資機材等を保管する備蓄倉庫を設置します。

### 5F

#### 【市民開放と独立性を両立する議会フロア】

議決機関としての独立性

- ・ 議会機能の諸室を1フロアに集約配置したうえで、行政執務機能との連携にも配慮した配置計画とします。

市民に開かれた議会・傍聴しやすい議会

- ・ 議場には十分な数の傍聴席を確保し市民へ開かれた議会を目指します。また傍聴席には車いす用のスペースも確保し、バリアフリーに配慮した計画とします。

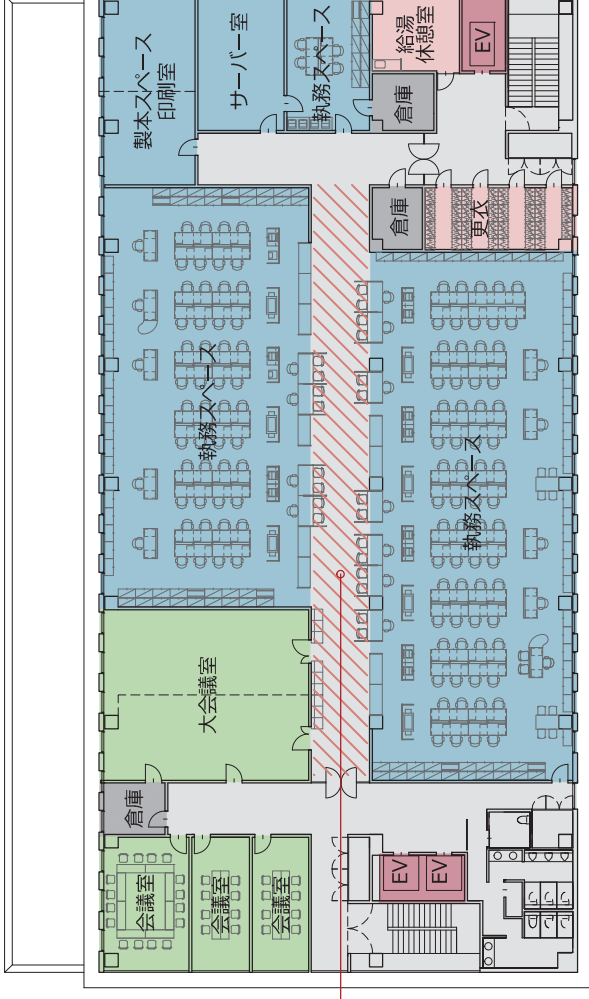
多目的に利用可能な議場計画

- ・ 議場家具は可動式とすることで、議会開催時以外は展示会、イベント等、市民が幅広い用途で利用可能な計画とします。

展望ロビー

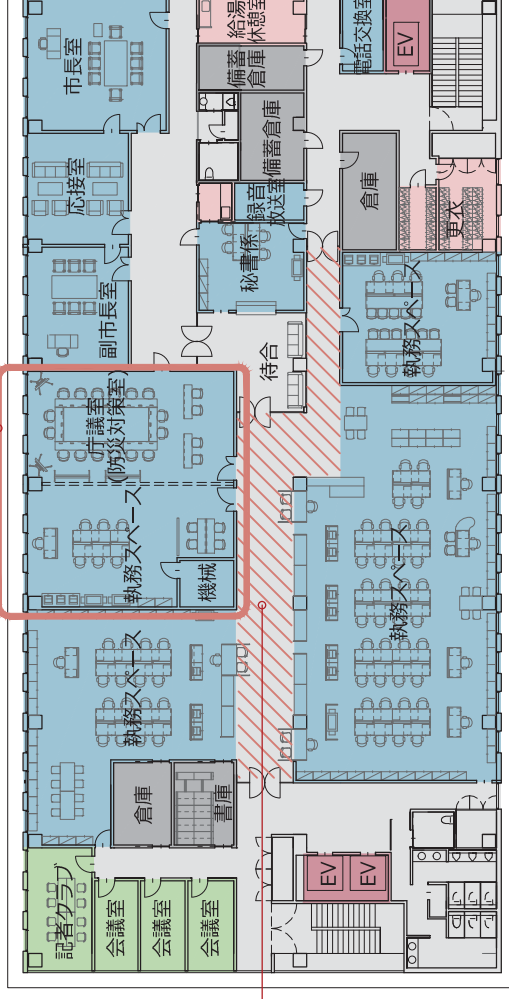
- ・ 市内を遠望でき、大文字も見える展望ロビーを整備します。日常は議会の市民傍聴ロビーとして使用する計画です。

中廊下形式の執務スペース



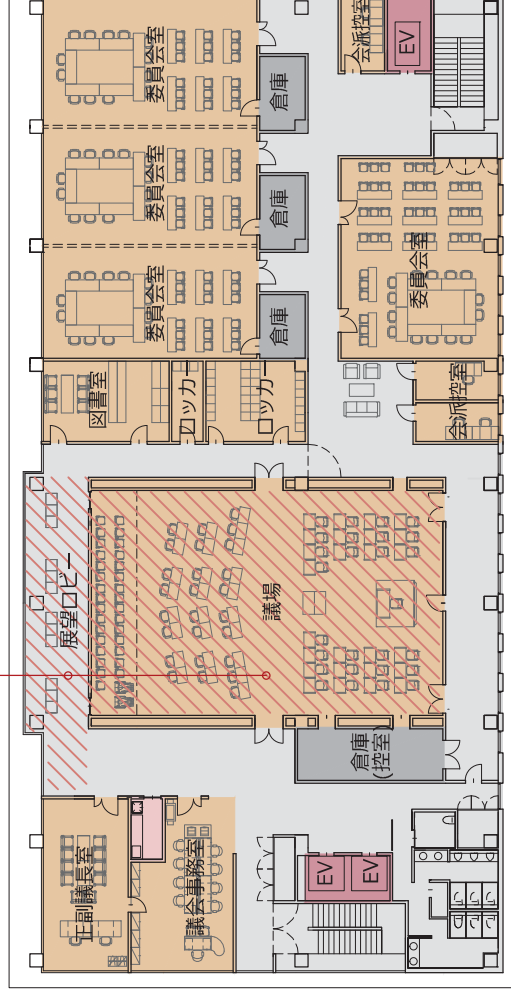
3F平面図

災害拠点となる災害対策本部



4F平面図

市民に開かれた展望ロビー・議場



5F平面図

| 凡例         |            |
|------------|------------|
| 議会議連       | 議会関係       |
| 執務室        | 執務室        |
| 市民窓口       | 市民窓口       |
| 会議室・相談室    | 会議室・相談室    |
| 協働スペース     | 協働スペース     |
| 附帯諸室       | 附帯諸室       |
| 市民開放       | 市民開放       |
| 倉庫・書庫      | 倉庫・書庫      |
| 廊下・階段・トイレ等 | 廊下・階段・トイレ等 |
| EV (縦動線)   | EV (縦動線)   |



S=1/400 (A3)